

HSK—なんれん

# おとふけ

No. 26

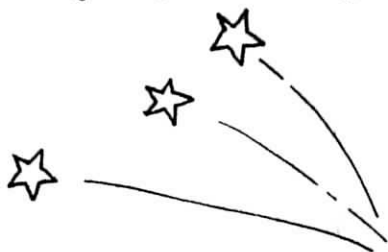
昭和48年1月13日第三種郵便物認可  
HSK通巻第284号  
1995年11月10日  
毎月10日発行(1部100円)  
(会費に含まれています)  
編集 財団法人北海道難病連合会支部  
発行 北海道身体障害者団体  
定期刊行物協会(HSK)



## 第5回 クリスマス パーティ

とき 1995年12月3日(日)  
13時~16時  
(12時30分より受付)

ところ 音更町保健センター  
参加費 1人500円  
(小学生以上)



# 帯広青年合唱団

♪合唱団のみなさんが  
楽しい歌をたくさん  
うたってくれます



♪みんなもいっしょにうたってね!

楽しいゲーム..... 賞品があります

お楽しみプレゼント...何かあたるかも  
楽しみです

喫茶

たんぽぽ



コーヒー 100円

開店時間

12:00~13:00

14:10~14:30

紅茶 100円

16:00~17:00

ポカテアたんぽぽの会



第5回  
クリスマス  
パロディ



日時 12月3日(日)  
13:00~16:00

場所 音更町保健センター

参加費 1人 500円(小学生以上)

申込切 11月26日(日)

ハカキ又は電話でお申込み下さい

電話. FAX



主催 (財)北海道難病連音更支部  
クリスマス実行委員会

# どんぐりまつり 終る

10月1日の秋晴れの1日、午前中は緑南中学校のパークゴルフ場に2パークゴルフを楽しみ、午後からは、どんぐりの家に移動して、焼肉・炸鸡のチャンチャン焼き等食べながら交流を深めました。参加者は全員で5名でしたが勝敗に関係なく全員に参加賞を手渡しました。

昨年に引き続き、緑南中学校にボランティアを要請しましたところ、パークゴルフ部々員を含めて1年～3年生まで15人の生徒の皆さんにご協力をいただきました。どんぐりまつり前日には大谷短大生、緑南中学生、一般の方含めてボランティア研修会を行ないました。初歩的な車イスの扱い方、アイマスクを付けるの仕方、お金の送付方や手話を講習する。講師は北海道難病連のボランティア研修を受けた人4人と事務局です。

どんぐりまつり当日は、学生・一般ボランティアの方々はじめ、緑南中学校の校長、教頭先生や諸先生方には、本当にか世話になりました。

参加者の皆さん、それぞれに十勝晴れのような表情で充実した1日を過ごしていただきました。

どんぐりまつりにボランティアとして参加した  
緑南中学校3年生の感想です

### 近藤琴美

“難病”という言葉もよく知らず、ボランティアという  
形で今回参加させてもらいました、難病や福祉  
など学ぶことはかりで、とてもいい経験になり、また  
身近に感じれるようにもなりました。私は今、福祉  
関係の職業につきたいと考えています。

もし将来このような職業につけたら、この「どんぐり  
まつり」の経験が生きてくるでしょう。最後に、これか  
らもうがんばって下さい。そして、ありがとうございました。

### 浜村聡美

私はボランティアに参加するのは初めてだったので  
とても不安でした。でも、いざ一語にプレーしてみると  
私が思っていたのと全然ちがひ、みなさんとても  
生き生きと楽しくしているのです。

私は心の中でずっと偏見を持っていたのか  
障害者は暗い人達ばかりだと思っていたので  
びっくりしました。でも私となんにも変わらないな  
と思いました。これからも、こういう行事があれば  
積極的に参加して、交流をしたいと思います。

## 横田希和子

私はこのボランティアの前にも、他のボランティアに行ったことがあったけど、こんなにくわしくはしませんでした。今回参加してみて障害者の人たちはふだんどんなことをして生活しているのか、どんな気持ちか、ことが少しわかりました。大変なんだなあと思いました。車イスだって実際に体験してみたら、ただすわってこぐだけだと思ってたけど、段差や坂はとても苦労しました。

パークゴルフは、私たちの班は障害者の人はいなかったけど、他の班の人のをみて、楽しそうにやっていていいなあと思いました。

難病連のみなさんどうもありがとうございました。

## 北島 志乃

このまつりに参加して、たくさんの方の得た物があります。身体に障害を持っている人達といっしょに交流できたことは、本当にうれしかったです。

今まで、ボランティアと言うものに参加した事なかったり、それでなくても身体に障害をもっている人と接した事がない私と一諸にパークゴルフをいっしょにした、耳の聞こえない方が、普通の人といっしょに活動してる事におどろきを感じました。この方から、耳が聞こえなくても普通の

人と同じように生活ができる ということを学びました。私はこの方と話をしたかったけれど、手話ができないので十分に話す事ができませんでした。またこのボランティアに参加したいです。そして、その時までには手話を覚えて、たくさんよい体験をしてみたいです。

### 舞台 豊美

私は難病連音更支部で主催したパークゴルフ大会に参加して、いろいろなことを学びました。“友達が行くから私も行く..”というのが参加するきっかけでした。ただそれだけの理由だったのではじめは「パークゴルフなんて ちょっとめんどくさいな」と思っていました。でも実際に身体に障害のある方といっしょにパークゴルフをしてみると、とても楽しかったです。今まで“障害をもった人たちは一人では生活できない..”と心の中で思っていたけれどそんなことはありませんでした。

参加して本当に良かったです。また機会があったら行きたいと思います。

### 平尾 美佐子

私は、前からずっとボランティア活動に参加してみたいと思っていたので、今回“どんぐりまつり”に

参加させてもらえて本当によかったと思います。

前日に行った説明会で実際に車イスに乗ったり又そうさしてみても、車イスに乗っている人の苦勞を知りました。一番苦勞をしたのは、いかに障害物を上手にクリアするかでした。気をつけたつもりでも乗っている人に不安感をあたえてしまいました。

しかし当日は何の失敗もせずすみました。

今回私が参加して一番うれしかったことは、耳の聞こえない人に、覚えてたての手話で、私の名前を知ってもらえたことです。手話で話したのはこれだけでしたが「つうじた」ということに喜びを感じました。いろいろな人と知りあえ、とても楽しかったです。また参加したいです。

### 岩渕 敦子

私は難病連主催のパークゴルフに参加させてもらい、とても貴重な体験をさせてもらったと思います。参加したきっかけは、友達に参加するということで、それなら私もやってみようという単純な気持ちでした。それまで私は、目の見えない人や耳の聞こえない人を、どうせ人に頼ることしかできない人だろうと、どこかで差別していたんだと思います。でも、参加したことによって、私は自分の考えが変わりました。それと同時に今までの考え



がとても恥かしくなっていました。

私は、これからも何らかの機会でボランティアに参加することがあると思います。その時は、この貴重な体験を生かして積極的に参加したいと思います。

---

## 日本患者・家族団体協議会(JPC)の国会請願署名行動 とリサイクルバザーの報告

---

9月10日(日)に開催された音更町社会福祉大会(文化センター)で、難病連音更支部は、難病の早期原因究明等6項目の請願事項を要望する署名・募金行動と支部財政活動としてのリサイクルバザーをさせていただきました。当日は役員5人ボランティア13人計18人で署名とバザーを担当しました。

署名 245筆                      募金 16,600円

バザー 収益 66,841円

前日よりバザー品の搬入等お手伝いしていただいたり当日はほとんど1日を難病連にご協力いただきましたボランティアの方々にお礼申し上げます。

又、署名や募金をして下さった方、バザー品を買っていただいた多くの方々に感謝申し上げます。

収益は難病連の活動資金として運用させていただきます。

JPC国会請願署名にご協力を  
署名募金活動は来年3月まで  
ひき続き行なっています。  
署名用紙は事務局にあります  
のでご連絡をお願い  
します

正月飾りの販売にご協力を  
活動資金づくりの一つと  
して、今年も正月飾りの注文  
受付を始めました。  
消費税は内税です  
注文受付は12月5日までです  
チラシは事務局にあります

ご寄贈 いただきました

出井文二様  
村中仁志様

車イス 2台  
キャジベット / 台

- ・車イスは貸出ししています
- ・キャジベット (マットはありません) は、必要な方に  
差し上げます

音更支部事務局 TEL・FAX 31-8723

————— HSK・なんれん おとふけ —————

編集人 (財)北海道難病連音更支部 穀内 さかえ

音更町

昭和48年1月13日第3種郵便物認可

1995年11月10日発行 HSK通巻284号

発行人 北海道身体障害者定期刊行物協会 細川 久美子

札幌市西区八軒8条東5丁目4-18